



薬局・薬剤師のためのニュースメディア

HARMACY NEWSBREAK

## 薬経連・山村会長 再びバッシング」

中小薬局でつくる保険薬局経営者連合会（薬経連）の山村真一会長は14日、東京都内で開いたフォーラム終了後の記者会見で、2016年度診療報酬改定で新設されるかかりつけ薬剤師指導料について、「数を取っていくという話も耳にするが、1件1件質の高い業務をこなしていくことになるので、質を示していくというのが普通。これが単に数をこなすということになると形骸化してしまい、また強烈なバッシングを受けるのではないか」と述べ、質を担保する必要があるとの認識を示した。

【写真】記者会見する薬経連の山村会長



### ●調剤報酬「目指すべきは簡素化」

改定全体に関しては「従来のようなマイナーチェンジと違い、根本的な建て付けのところに入っていたという気がする。ハードランディングは避けられたと思うが、あまりにもバリエーションが多く、複雑化してしまった」と指摘。その上で、「そうならざるを得なかつたという事情も理解できるが、一過性のものになってほしい」と述べ、国民の立場からすると目指すべき方向は簡素化だとの考えを示した。

薬経連は中小薬局の経営支援を目的、2011年2月に設立され、現在、99社309薬局が加盟している。